

ダイワ／“RICI[®]” コモディティ・ファンド

<3102>

追加型投信／内外／その他資産(商品先物)／インデックス型
日経新聞掲載名：コモデフ

第28期 2022年4月25日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、コモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第28期末	基準価額	4,593円
	純資産総額	6,505百万円
第28期	騰落率	44.2%
	分配金	450円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を含めて計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00（営業日のみ）

0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0310220220425◇

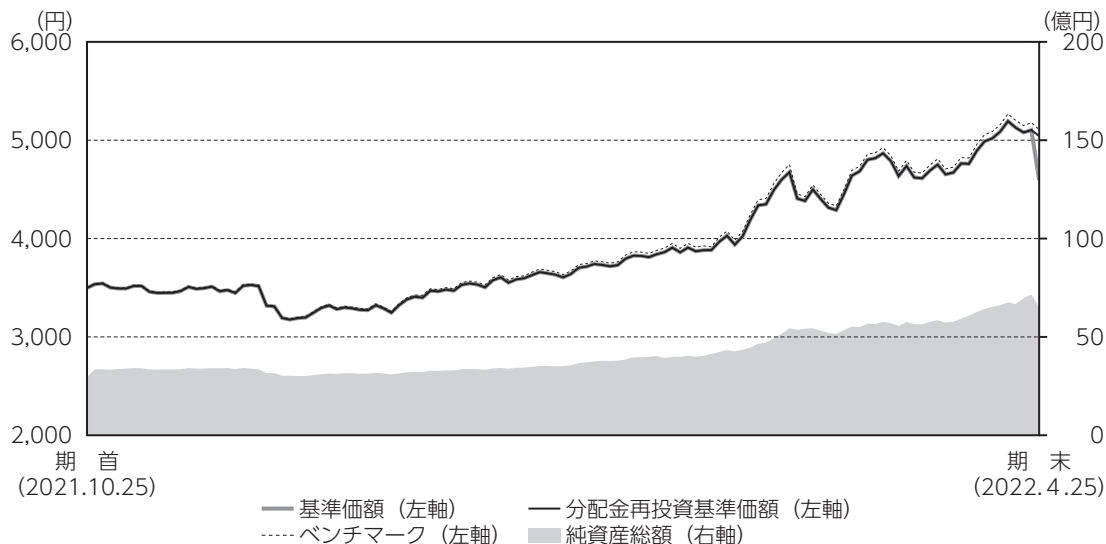
「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークはRICI[®]（円換算）です。

■ 基準価額・騰落率

期首：3,498円
 期末：4,593円（分配金450円）
 騰落率：44.2%（分配金込み）

■ 基準価額の変動要因

“RICI”[®] ファンド クラスAを高位に組み入れることにより、世界のコモディティ（商品）価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行った結果、商品市況の上昇などを受け、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ “RICI”[®] ファンド クラスA：ケイマン籍の外国証券投資法人「“RICI”[®] Commodity Fund Ltd.」が発行する「“RICI”[®] class A」

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2021.10.26~2022.4.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.565%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,903円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.137)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	22	0.570	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

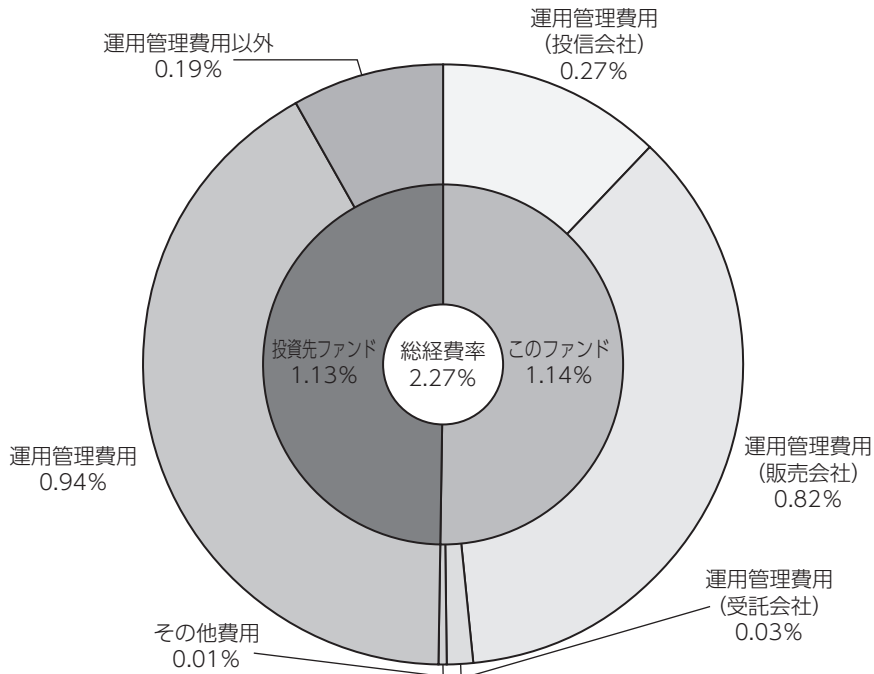
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.27%です。



総経費率 (①+②+③)	2.27%
①このファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.94%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

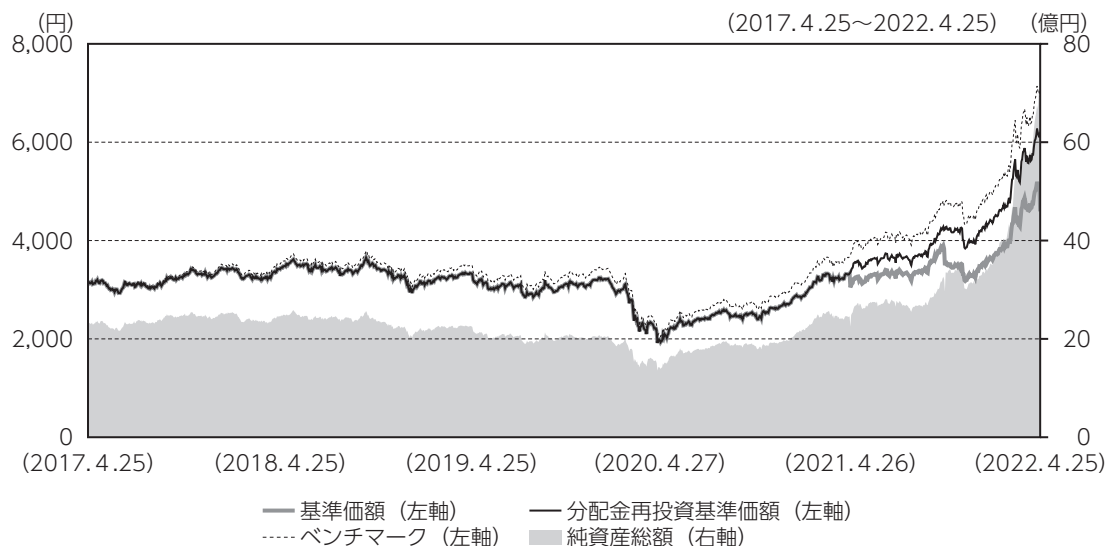
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2017年4月25日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2017年4月25日 期初	2018年4月25日 決算日	2019年4月25日 決算日	2020年4月27日 決算日	2021年4月26日 決算日	2022年4月25日 決算日
基準価額 (円)	3,101	3,418	3,331	1,971	3,049	4,593
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	300	800
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	10.2	△2.5	△40.8	69.9	81.9
RICI [®] (円換算) 騰落率 (%)	—	13.5	△0.6	△40.3	77.2	87.0
純資産総額 (百万円)	2,245	2,455	2,254	1,413	2,248	6,505

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) RICI[®]とは、「ロジャーズ国際コモディティ指数[®]」の略称です。

(注3) RICI[®] (円換算) は、RICI[®] (米ドル建) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。RICI[®] (米ドル建) は、基準価額への反映を考慮して、原則として1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2021.10.26～2022.4.25)

商品市況

商品市況は全セクターが上昇しました。

商品市況は、当作成期首から2021年11月にかけて、欧州での新型コロナウイルス感染拡大や南アメリカでのオミクロン株の発見および他地域での感染確認などを受け、経済活動の減速懸念から下落しました。しかし12月に入ると、オミクロン株の重症化リスクは低いとの見方から過度な警戒感が後退したことで商品市況も反発し、2022年1月以降もウクライナ情勢をめぐる緊張感の高まりなどから続伸しました。2月下旬には、ロシアによるウクライナ侵攻が現実のものとなり、原油（WTI）は一時節目の1バレル100米ドルを超えました。3月に入ると、米国および英国がロシア産原油の禁輸措置を発表したことなどからエネルギーセクターを中心に急騰したのち、OPEC（石油輸出国機構）の増産観測などにより上昇幅が縮小する値動きの荒い展開となりました。その後も、エネルギーセクターでは不調なロシア・ウクライナ間の停戦交渉や欧州でのロシア産原油の禁輸措置の広がり、リビアでの大規模油田の操業停止などにより上昇する一方、IEA（国際エネルギー機関）加盟各国による石油備蓄放出の合意や中国の主要都市のロックダウン（都市封鎖）に伴う景気減速懸念、IMF（国際通貨基金）による世界経済成長予測の引き下げなどが嫌気され、高値水準でニュースフローに一喜一憂する展開の中で当作成期末を迎えました。そのほか、ウクライナが主要産地である小麦等の農産物は需給ひっ迫が懸念され、顕著に上昇しました。

為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて上昇しました。2022年に入ってから、レンジ内での推移が続いた後、3月にFRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって円安米ドル高が大きく進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も“RICI[®]” ファンド クラスAを高位に組み入れます。

“RICI[®]” ファンド クラスA

世界中の経済活動に広く利用されているコモディティ（商品）の値動きを表すRICI[®]（円換算）の動きにおおむね連動する投資成果をめざして運用を行います。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.10.26～2022.4.25)

■ 当ファンド

当ファンドは、“RICI[®]” ファンド クラスAとダイワ・マネー・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。“RICI[®]” ファンド クラスAの組入比率を高位に保つよう調節を行いました。

■ “RICI[®]” ファンド クラスA

商品先物取引による運用にあたっては、ジム・ロジャーズ[®]氏の所有するBeeland Interests, Inc.からRICI[®]に関する情報の提供を受け、RICI[®]の構成品目とその構成比率にできるだけ近似した商品先物ポートフォリオを構築し、RICI[®]の動きを反映した投資成果をめざして運用を行いました。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

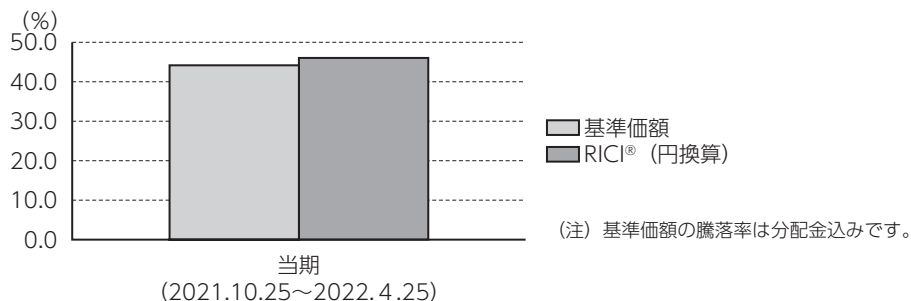
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は46.0%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は44.2%となりました。

“RICI[®]” ファンド クラスAの組入比率が100%を下回った部分がベンチマークとのかい離要因となりました。また、諸経費負担等がマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



*ベンチマークはRICI[®] (円換算) です。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年10月26日 ～2022年4月25日	
当期分配金（税込み）	(円)	450
対基準価額比率	(%)	8.92
当期の収益	(円)	450
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,225

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	970.87
(c) 収益調整金		601.18
(d) 分配準備積立金		103.64
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		1,675.71
(f) 分配金		450.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		1,225.71

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も“RICI[®]” ファンド クラスAを高位に組み入れます。

■“RICI[®]” ファンド クラスA

世界中の経済活動に広く利用されているコモディティ（商品）の値動きを表すRICI[®]（円換算）の動きにおおむね連動する投資成果をめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



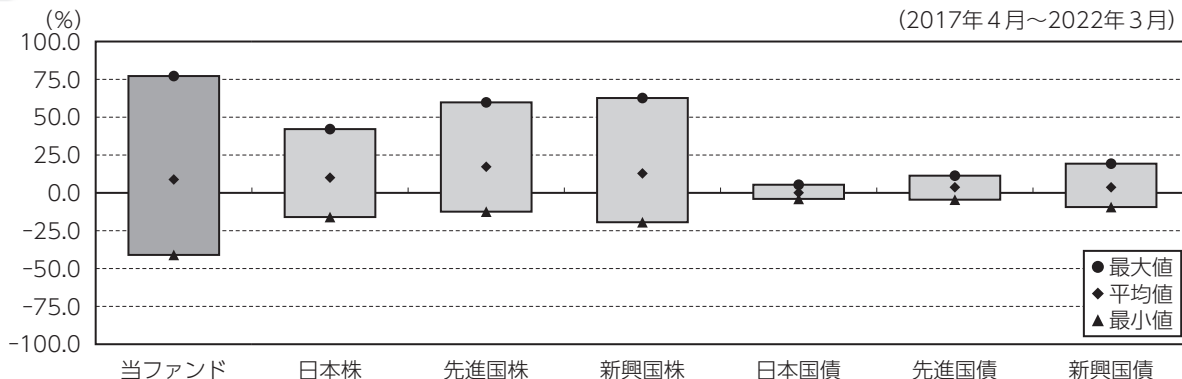
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品先物）／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2008年6月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国証券投資法人「“RICI [®] ” Commodity Fund Ltd.」が発行する「“RICI [®] ” class A」（以下「“RICI [®] ” ファンドクラスA」といいます。）の投資証券（米ドル建） ②国内籍の証券投資信託「ダイワ・マネー・マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券（円建）
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①世界のコモディティ（商品）価格の中長期的な上昇を享受するために、ロジャーズ国際コモディティ指数 [®] の動き（円換算）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、「“RICI [®] ” ファンドクラスA」とマザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。これらの投資対象ファンドへの投資にあたっては、通常の状態では「“RICI [®] ” ファンドクラスA」への投資割合を高位（信託財産の純資産総額の90%程度以上）とすることを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

「ダイワ／“RICI[®]” コモディティ・ファンド」およびその関連ファンドであるケイマン籍の外国証券投資法人「“RICI[®]” Commodity Fund Ltd.」（そのサブファンドである「“RICI[®]” class A」を含みます。）（以下、当注記において、総称して「ファンド」といいます。）はJames Beeland Rogers、Jim Rogers[®]またはBeeland Interests, Inc.（以下、当注記において、総称して「Beeland」といいます。）により提供、保証、販売または販売促進されるものではありません。Beelandはファンド購入者、すべての潜在的ファンド購入者、政府当局、または公衆に対して、一般的な証券投資、特にファンドへの投資の助言能力を、明示的にも暗示的にも、表明または保証するものではありません。BeelandはRogers International Commodity Index[®]の決定、構成、算出において大和アセットマネジメント株式会社およびその関連会社、またはファンド購入者の要求を考慮する義務を負いません。Beelandはファンドが発行される時期、価格もしくは数量の決定またはファンドが換金されるもしくは他の金融商品、証券に転換される際に使用される算式の決定または計算の責任を負わず関与もしていません。Beelandはファンドの管理、運営、販売、取引に関して義務または責任を負いません。「Jim Rogers[®]」、「Rogers International Commodity Index[®]」、「Rogers International CommodityTM」および「RICI[®]」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers[®]またはBeeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	77.2	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
平均値	8.8	10.1	17.3	12.9	0.1	3.7	3.7
最小値	△41.0	△16.0	△12.4	△19.4	△4.0	△4.5	△9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI 国債

先進国債……………FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注） 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



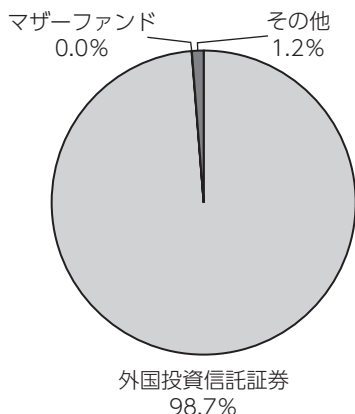
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

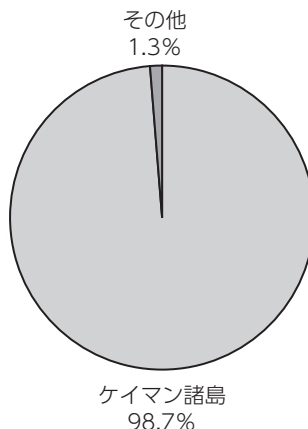
組入ファンド等

	比率
“RICI [®] ” ファンド クラスA	98.7%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.2

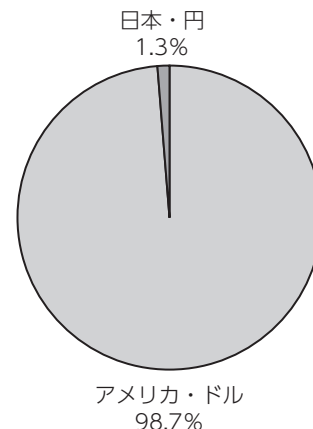
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2022年4月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2022年4月25日
純資産総額	6,505,638,695円
受益権総口数	14,165,201,721口
1万口当り基準価額	4,593円

* 当期中における追加設定元本額は12,456,863,263円、同解約元本額は6,752,547,155円です。

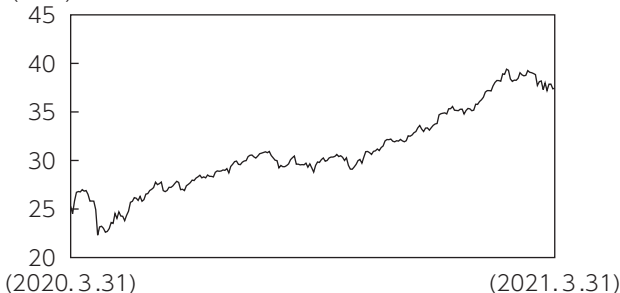
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ “RICI[®]” ファンド クラスA (作成対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日)

■ 1口当り評価額の推移

(USD)



■ 1口当り費用の明細

当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

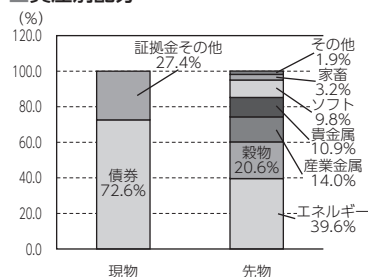
■ 組入上位銘柄 (商品先物)

銘柄名	比率
WTI CRUDE FUTURE JUN21	9.7%
BRENT CRUDE FUTR JUL21	8.5
GOLD 100 OZ FUTR JUN21	5.3
WTI CRUDE FUTURE MAY21	4.9
BRENT CRUDE FUTR JUN21	4.5
NATURAL GAS FUTR JUN21	4.0
CORN FUTURE JUL21	3.3
COTTON NO.2 FUTR JUL21	2.8
LME COPPER FUTURE JUN21	2.7
SILVER FUTURE JUL21	2.7
組入銘柄数	69銘柄

(注1) 比率は純資産に対する比率。

(注2) 銘柄数は正味の比率がゼロでないもの。

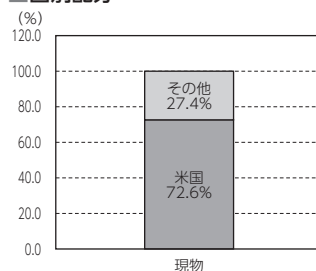
■ 資産別配分



(注1) 比率は純資産に対する比率。

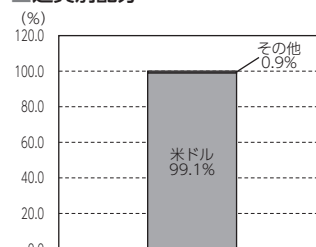
(注2) 先物は商品先物のカテゴリーごとの比率。

■ 国別配分



(注) 比率は純資産に対する比率。

■ 通貨別配分

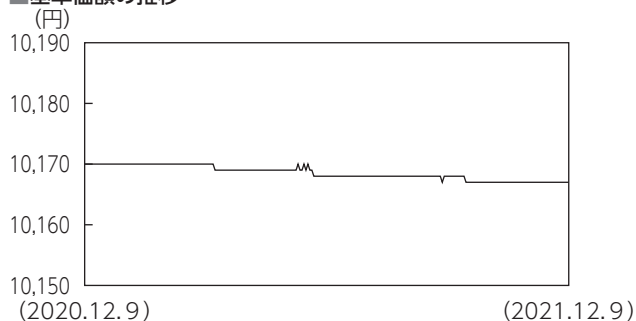


(注) 比率は純資産に対する比率。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		—円
有価証券取引税		—
その他費用 (その他)		0 (0)
合	計	0

■組入資産

2021年12月9日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

Memo

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management